

特別展

「ドラマとポエジーの画家
和田義彦」

2005年
8月2日(火)ー9月19日(月)

主 催／渋谷区立松濤美術館 読売新聞社
開館時間／午前9時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日／毎週月曜日[ただし9月19日(月)は開館]
8月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、9月5日(月)、12日(月)
入 館 料／一般300円(240円)、小中学生100円(80円)
※()内は10名以上の団体料金、60歳以上の方および障害者の方は入館無料、
毎週土曜日は小中学生無料



■講演会 9月3日(土)午後2時より
鼎談
森村誠一(小説家)、和田義彦(画家)、福井泰民(当館主任学芸員)
「和田義彦の世界」

「腰かける女」アクリル画 1984年

Y. Wada

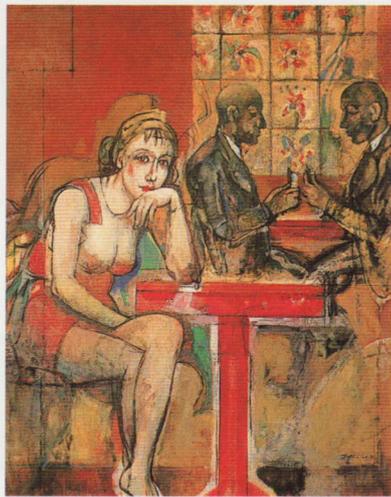
渋谷区立松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL03-3465-9421
渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅徒歩5分
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>



「Rossi 夫妻の夏」 テンペラ、油彩 1982年



「女性像」 テンペラ、油彩 2000年



「ダンス」 テンペラ、油彩 2001年

和田義彦は現在、渋谷区在住の油彩画家として活躍しています。彼は1940年に三重県海山町に生まれ、その後、愛知県立旭丘高校美術課程を経て、1959年、東京藝術大学油絵科に入学しました。1964年に初の個展を開催し、翌年の第39回国画会に初入選をして画家としてデビューしました。和田は1970年に国画会会員に推挙され、翌年から6年にわたってイタリア政府給費留学生としてローマに滞在します。主に、ローマ中央修復学校で、イタリア古典絵画の模写研究を行なったほか、スペインでも模写を通して西洋古典技法をしっかりと身につけました。

帰国後、和田は国画会や個展で制作発表を続けてゆきます。2002年に「想」により安田火災東郷青児美術館大賞を受賞するなど、現在最も活躍している作家の一人です。近年はアジアにも目を向け、絶えず表現の可能性を押し広げながら意欲的に絵画表現を展開しています。

街やカフェにたむろする男女の何気ない日常の風景のなかに潜む癒しがたい孤独と空虚感。感情をむき出しにしたグロテスクな醜い人物群の表情は、人間心理の奥底に潜む様々な欲望をあばきだしています。誰もいない広場や彫像、犬などの作者の記憶によって呼び覚まされる様々なイメージは不安、恐怖、悲しみなど人間存在の根源的な感情を喚起させます。その絵画には不条理、虚と実、エロス、生と死といったテーマが激しくドラマチックにあるいは哀切に詩情を混えて表現されています。

本展は初期から現在までの油彩画、テンペラ画に加えて、水彩、素描、挿絵原画、模写など80余点で和田義彦の絵画世界を紹介します。



「トランプ」 テンペラ、油彩 2004年

Y O S H I H I K O W A D A



「壁画のある風景」 テンペラ、油彩 2004年

ギャラリートーク

- 8月6日(土) 午後2時より
講師 和田義彦
- 9月9日(金) 午後2時より
講師 和田義彦

美術映画会

- 8月20日(土) 午後2時より
「エルミタージュ美術館 下巻」
- 9月10日(土) 午後2時より
「クレー」“世界・美の旅シリーズより”
「植民地との遭遇」“近代美術 実践と論争シリーズより”

美術相談

- 8月21日(日) 午後2時~4時
講師 西嶋俊親(油彩)、水野道子(水彩)
- 9月19日(月) 午後2時~4時
講師 遠藤原三(油彩)、栗田口博(水彩)

夏休み小中学生のための美術館見学会

8月10日(水)、11日(木)
詳細は当館まで

次回展予告

「中島宏 青い宇宙」
10月4日~11月20日



講演会

9月3日(土) 午後2時より
鼎談 森村誠一(小説家)、和田義彦(画家)、福井泰民(当館主任学芸員)
「和田義彦の世界」

渋谷区立松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART
〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL03-3465-9421
渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅徒歩5分
http://www.city.shibuya.tokyo.jp/